

平成22年度予算を可決

― 予算審査特別委員会を設置し審査 ―

平成22年度の一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、本定例会初日に議長を除く議員25人で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、採決の結果、いずれも原案可決となりました。

一般会計予算では、次の事項について、特に質疑を行っております。

◎救急医療対策事業

(質問)

医師確保の活動についてはどのような状況か。

(回答)

市長を先頭に、富山大学、新潟大学等に足を運んでいる。糸魚川総合病院との連携や、縁故も通じての活動をしているが、目に見えた成果になってはいない。また、看護師不足については今後も対応していきたい。

◎一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物最終処分場管理費

(質問)

一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物最終処分場の対応についての進捗状況は。

(回答)

一般廃棄物最終処分場については、現在、ゴミの積み上げは難しいと思われる。産業廃棄物最終処分場については、現在、ガス等の発生は無い。産廃の受入れについては、現在、そのままの状態では搬入しているため、今後は国の基準に従って対応していく。

◎ジオパーク推進事業

(質問)

ジオパーク戦略プラン作成の内容と作成時期は。

(回答)

6月ごろ発注し、来年1月に集約したい。内容は交流人口拡大プランと同じである。

◎北陸新幹線整備事業

(質問)

レンガ車庫の活用策はあるのか。

(回答)

レンガは建築部材として活用したい。具体策はこれからであるが、市民活動、ジオパーク情報発信機能、自然を生かした資源としての利用、駅舎デザインと空間利用も含めて活用したい。

◎子ども一貫教育基本計画等策定事業

(質問)

子ども一貫教育基本計画・実施要領の策定では、0歳から18歳までのどのように一貫性を図っていくのか。

(回答)

一貫性については、本年3月に策定した基本方針に基づき、基本計画・実施要領に盛り込んでいく予定である。中学校と高等学校の一貫性

については、20・21年度と公開授業等を通して連携が図られるようになってきた。

【委員会における意見の集約】

◎常備消防費

常備消防職員の勤務体制は、兼任体制も含め全体にしわ寄せが生じる状況にあり、人員の適正配置を図ること。

次に、特別会計予算では、次の事項について、特に質疑を行っております。

◎柵口温泉事業特別会計予算

(質問)

指定管理者制度はどのように対応するのか。温泉センターは、福祉施設としてとらえてはどうか。議会・地元理解を得てから進めることができなかつたのか。

(回答)

指定管理者制度については、慎重審議を重ねた上で検討していく。すぐに指定管理者制度に移ることはない。温泉センターは福祉施設としてとらえている。しかし、できる限り赤字にならないようにしていきたい。地元理解については、柵口温泉を南能生、能生地域の拠点施設としてとらえている。

検討を加える時期に来ているので早急に理解を求めていきたい。

常任委員会報告

【総務文教常任委員会】

糸魚川市職員定数条例の一部改正等の条例9件、予算3件、その他4件の合計16議案を審査し、原案どおり可決しました。

【建設産業常任委員会】

糸魚川市都市計画審議会条例の一部改正等の条例2件、予算6件、その他2件の合計10議案を審査し、原案どおり可決しました。

【市民厚生常任委員会】

糸魚川市障害者社会参加促進センター条例の廃止条例等の条例5件、予算4件、その他5件の合計14議案を審査し、原案どおり可決しました。なお、健康づくりセンター条例の制定についての議案は、継続審査となりました。

予算審査特別委員会



甲村副委員長



樋口委員長